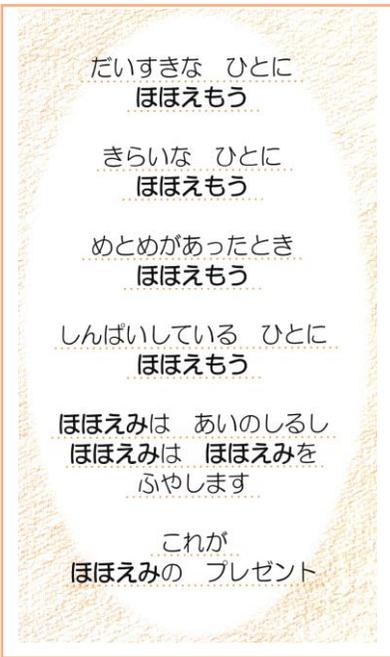


『にじいろのクリスマス・プレゼント』

副校長：武藤 浩之

先月の半ばだったと思います。登校時の子ども達が指さす方に顔を向けると、西の中天から信夫山にかけて、見事な虹が描かれていました。「虹」です。落ち葉を舞い上がらせる寒風の中、しばし、その鮮やかな「にじいろ」を見ていました。以後、半月が経ち、今日から12月。晩秋から初冬へ。霜月から師走へ。平成29年も、残すところ一か月になりました◆虹…。冒頭で虹に触れたのは、巻頭言の布石にするためです。今週の月曜日は、待降節朝礼の一回目。これに先立ち、学校長から小冊子を拝領しました。『にじいろのクリスマス・プレゼント』と題した小冊子です。そこには「にじいろ」、つまり「七色」のプレゼントが記されていました◆きくこと、ゆるすこと、ほほえむこと、いのること、かんしゃすること、ほめること、しんらいすること。七色の全てを取り上げたいところですが、紙幅が足りません。迷った挙句、「ほほえむこと」を選びました◆そう言えば、今年の聖母小だより12月号に“子ども達の日常の所作が笑顔と微笑みをもたらす”という書きました。例にしたのは、横断歩道で停車した車へのお辞儀です。不機嫌そうなドライバーもつい微笑んでしまう。そういう内容でした◆大人はもちろん、子どもや小さなお子さんでも、誰にでもできる『にじいろのクリスマス・プレゼント』をしたい。小冊子は、そう結んでいます。微笑むことに関して言えば、それをもたらしているのは、前述したように子ども達。従って、大人の方こそ心がけるべきでしょう。自省の念も含めてのことです◆最後になりましたが、保護者の方々のご支援・ご協力に感謝しつつ、今年の巻頭言の締めくくりとします。



「待降節」を迎えました

待降節は、イエス様を私たちの心にお迎えする準備をするときです。英語で Advent と言います。先日の27日に、「待降節」の一回目の朝礼を行ないました。最初に、待降節のろうそくの一本目に火をつけました。これから朝礼のたびにろうそくの数は一本ずつ増えていきます。聖書朗読（ヨハネによる福音など）を聞いた後、待降節の実行をうながす朗読劇を見ました。5年生の数名が舞台上がって、明るくよく響く声で朗読しました。奉仕委員会から募金活動のお知らせを聞いた後、クラスごとに実行表をいただきました。

クラスに戻ってから、一人ずつ待降節にどんな実行をするか、目標を決めました。自分で決めた目標を忘れずにコツコツ実行することは、子どもの成長の大きな糧になります。お子さんがどんな目標を決めたのか、ご家庭でたずねてください。また、保護者の皆様からの応援の言葉は、子どもたちには大きな励みになります。ぜひ一言声をかけてください。

この実行を通して、神さまの恵みが子どもたちにたくさん与えられますように。（宗教科：定方 一悦）

ご案内① ～クリスマス祝賀式～

◇イエス・キリストの誕生を祝うとともに、天の父がひとり子を送って下さるほどに私たちを愛して下さったことを感謝し、祝うのが「クリスマス祝賀式」です。
◇本校ならではの心が豊かになる行事です。日時と会場は下の通りです。ぜひ子ども達とクリスマスの喜びを共にされますよう、ご案内いたします。
【日 時】平成29年12月16日（土）
10：00～11：00
*開場9：50
【会 場】桜の聖母短期大学 マリアンホール

御礼 ～図書、ベルマーク、資源～

図書整理

・11月13日（月）から6日間、「図書整理」を行ないました。16名のお母様方が作業をして下さいました。

ベルマーク作業

・今回の活動（11.18）では、14711.6点集めることができました。

資源回収

・今回は総量 1982kg の資源が集まり、23,779円になりました。（担当：定方、湯川）

ご案内② ～鼓笛隊パレード～

◇エアレースパイロットの室屋義秀選手が世界チャンピオンを獲得しました。これに伴い、県民栄誉賞を受賞します。その贈呈式が12月4日（月）に行なわれ、受賞記念パレードに「本校の5、6年生による鼓笛隊」が参加します。式典の開始時刻とパレードのコースは下の通りです。
【時 刻】12月4日（月）13：10 福島駅東口
【コース】東北電力福島営業所前→さんかく公園
【雨天時】福島民報社・民報ホール

ご協力を!! ～募金活動～

◇毎年、この時期になりますと、児童会：奉仕委員会が中心となり、『募金活動』を行ないます。今年度のめあては、『世界の困っている人たちの今を知り、心を込めた募金をしよう』になりました。
◇募金活動は、例年通り2回です。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。（奉仕委員会：担当）
【第1回】平成29年12月12日（火）
12月13日（水）
【第2回】平成30年 1月11日（木）
1月12日（金）

ミニコラムNo.35 子ども達との創造 ～学習発表会：英語劇～ 英語科：猪本 恵美

◇各教諭が演目の構想を練り始めたのは、夏休み前後からです。9月に入りますと、各学年の練習が徐々に始まりました。私にとりましては、本校の学習発表会はもちろんのこと、劇の指導をするのも初めてのことでした。
◇英語劇に挑戦したのは3年生です。英語の歌や楽しいことが大好きな彼らのことを考えつつ、台本を作成するのは、とても楽しいひと時でした。オリジナル台本の強みは、各児童の個性を考えながらキャラクターの設定が出来ることです。配役が決まった後、子ども達と共に、演じるキャラクターを創り上げていきました。その一方で、未習の文法や単語を多用した台詞が多かったため、果たしてきちんと仕上がるのかどうか、という不安も抱えていました。しかし、子ども達は皆、嬉々として練習に励み、私が想像していた以上に立派な作品に仕上げてくださいました。
◇発表会でのお見せした劇は、どんなに難しいことにも楽しみながら挑戦することの出来る3年生そのもの。今回の英語劇を通して、彼らの秘めたる力の大きさに気づかされました。と同時に、児童期というのは、英語を体当たりで楽しみ、吸収することのできる貴重な時期なのだと、改めて実感しました。



“The Wolves and the Nine Kids”